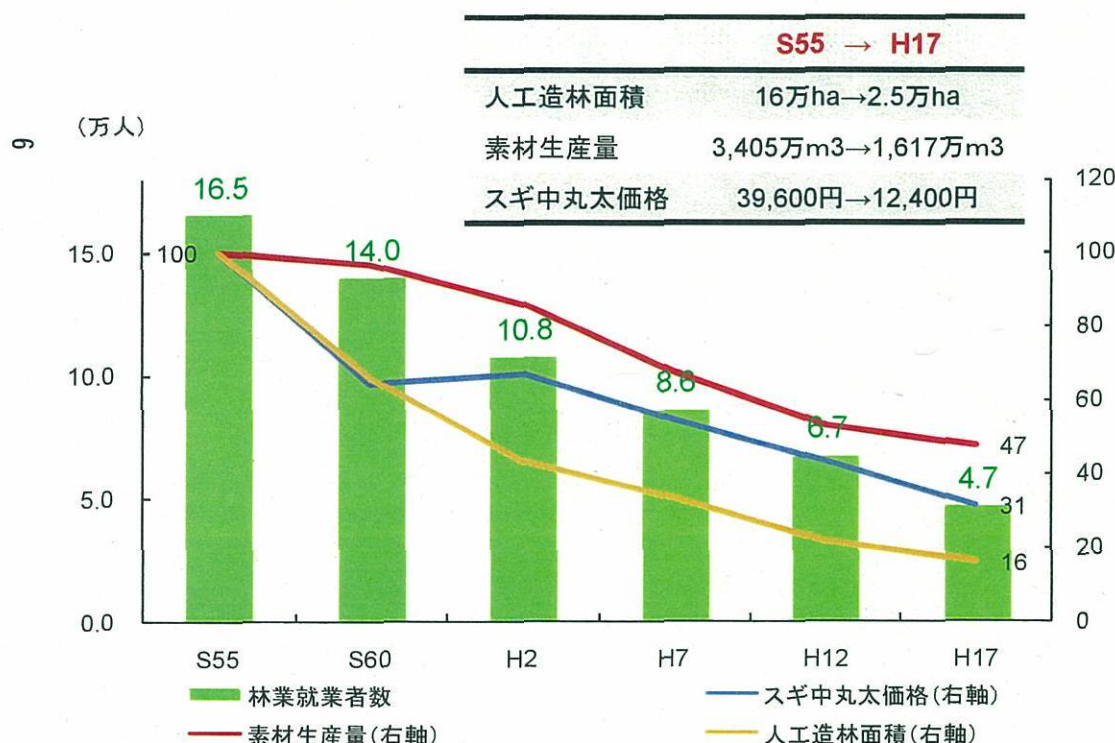


① 林業就業者の減少要因

2. 林業労働力の現状分析

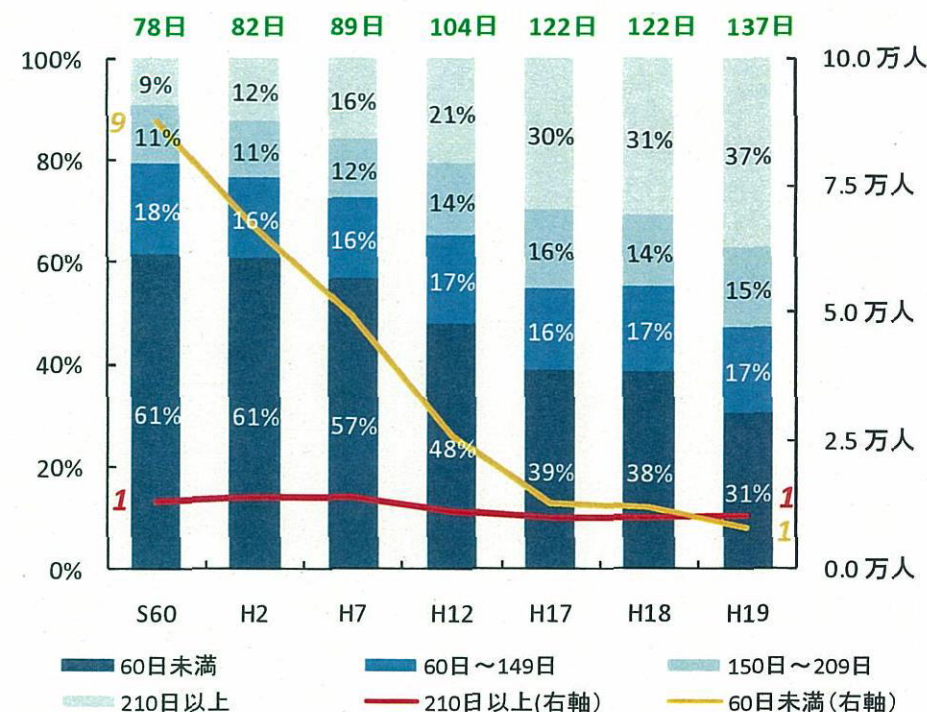
- 林業就業者の減少については、木材価格の低迷等により林業採算性が悪化するなかで、また、森林所有者の経営意欲の低下に伴う林業生産活動の停滞や森林資源が成熟するなかで、植林・下刈り・枝打ちといった労働集約的な森林施業の事業量が減少したことも影響してきた。
- とくに、植付け・下刈り等の造林作業は、これまで主に森林組合が担ってきたが、造林作業量等の減少に伴い、造林作業があるときのみ季節的に雇用される労働者が主に減少してきた。

造林事業量等と林業就業者数の推移



資料：林業就業者数：総務省「国勢調査」、人工造林面積：林野庁業務資料、
 素材価格：農林水産省「木材統計」、素材生産量：農林水産省「木材需給報告書」
 注：素材価格、素材生産量、人工造林面積は、昭和55年度を100とした時の指数である。

森林組合雇用労働者の年間就業日数の推移



資料：林野庁「森林組合統計」
 注：グラフ上段の緑字は、就業日数階層ごとの人数により重み付けし、年間就業日数を試算したもの。